

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 宮代町

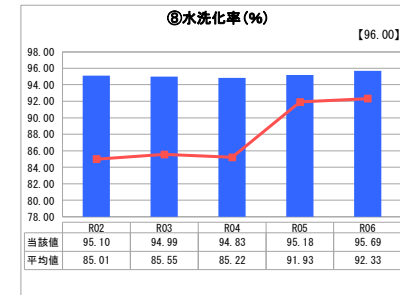
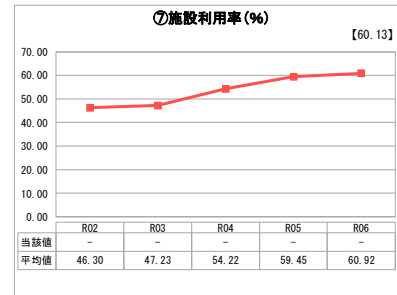
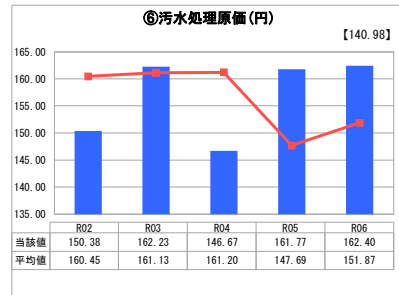
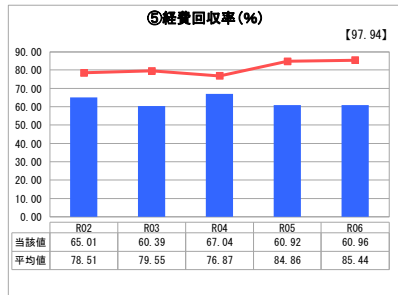
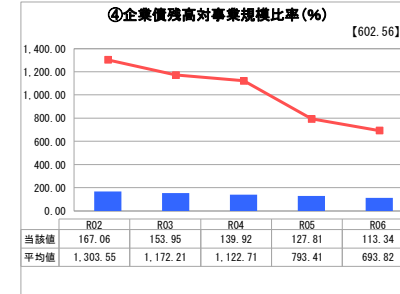
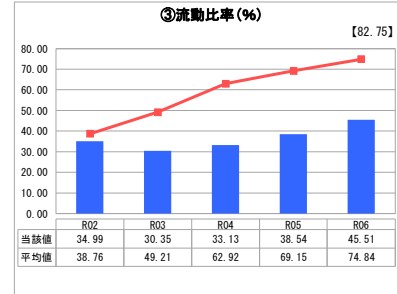
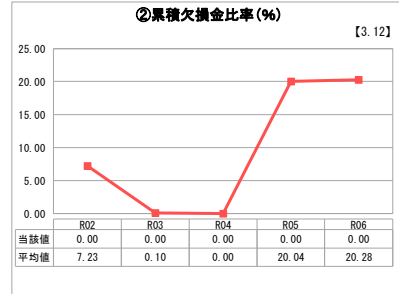
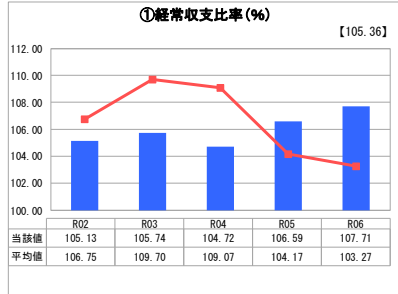
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	82.73	74.52	80.83	1,883

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,471	15.95	2,098.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,846	3.75	6,625.60

## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

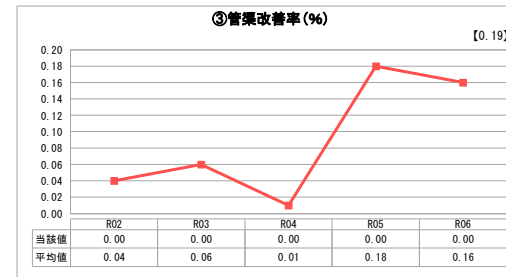
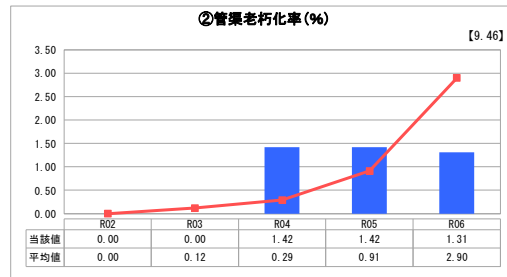
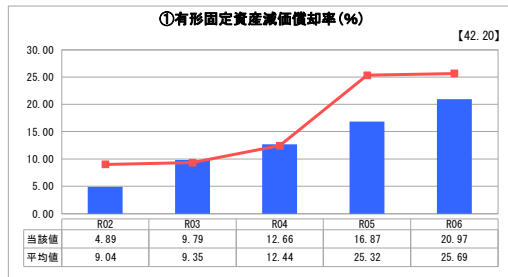
### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率→類似団体・全国平均を上回り、かつ収支が黒字となっていることを示す100%を上回っているが、使用料収入の不足分を一般会計からの繰入金で補っている状況にある。経費削減、適正な使用料水準の確保に努める必要がある。  
 ②累積欠損金比率→なし。  
 ③流動比率→類似団体・全国平均を下回り、さらに短期的な債務に対する支払能力が確保されていない100%を下回っている。一般会計からの繰入金で、流動負債を賄っている状態であるため、改善を図る必要がある。  
 ④企業債残高対事業規模比率→類似団体・全国平均を大幅に下回っている。企業債の元金償還が進み、減少傾向で推移している。  
 ⑤経費回収率→類似団体・全国平均を下回り、かつ比率は100%を下回っている。汚水処理費を使用料収入で賄えていない状況にある。  
 ⑥汚水処理原価→類似団体・全国平均を上回っている。有収水量の横ばい推移に対し、材料費・人件費等が高騰により、汚水処理費が増加している状況にある。  
 ⑦施設利用率→なし。  
 ⑧水洗化率→類似団体を上回っている。施設の有効な活用な上でも水洗化率100%を目指して下水道接続家屋等の接続推進に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率→類似団体・全国平均を下回っており、法定耐用年数に近い資産は比較的少ない状況にある。今後老朽化が進むことが見込まれるため、計画的な施設の更新に努める。  
 ②管渠老朽化率→類似団体・全国平均を下回っている。区域の拡大は予定していないため、今後、老朽化する管渠を、計画的に更新していく必要がある。  
 ③管渠改善率→なし。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営状況について、下水道事業の運営財源を一般会計からの繰入金に依存している状況にある。将来の人口減少に伴う下水道使用料の減少や、材料費・人件費等の高騰による汚水処理費の増加により、厳しい経営状況が続くと想定される。経営基盤の強化を図るには、収支の改善を行う必要がある。  
 事業認可区域の整備が完了しているため、当面は施設の維持管理及び老朽化対策が主体となる。老朽化対策については、法定耐用年数に近い資産の増加が見込まれ、ストックマネジメント計画に基づいた計画的・効率的な施設の更新に取組み、費用の抑制に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。